



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

JOCオリンピック教室

実施報告書

神奈川県 真鶴町立真鶴中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会

「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会等は、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和6年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 目的： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、
オリンピック自身の様々な経験を通して
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学校2年生
- 講師： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間： 2024年4月～2025年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、
チームワーク、フェアプレー、身体を動かす
ことの楽しさ等を感じてもらいます。



2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、自身が感じた
オリンピックの価値を生徒に伝え、
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



1コマ目

運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介
学習内容の確認



準備体操



主運動
(作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

2コマ目

座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した自己紹介



オリンピック自身の経験に基づく「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です。
※内容はオリンピックによって変動する場合があります。

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

■オリンピック：村上 睦子 先生 (バスケットボール) 【出場オリンピック／アトランタ1996大会】

■期 日：2024年9月25日(水)

■ク ラ ス：2年1組／運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・アトランタ1996大会のバスケットボール競技に出場したと自己紹介。オリンピックバリューについて説明し、運動の時間は、ルールを守り全力で取り組む、声を掛け合い協力する、アイデアを出し合い挑戦することの3つを意識して取り組んでほしい。準備体操は、1人1球ボールを持ち、ボールを使ったストレッチやボールハンドリングを行った後、シュート練習を実施。その後、2人組でバウンドしたボールを同時に取る、お互いの手をタッチしてからボールを取る等、息を合わせて行うパス練習に挑戦。

○主運動等



・主運動はシュート競争を実施(全2回)。班毎にボールを2球持ち、中央から左右どちらかのゴールに1人ずつドリブルをしながら走る。シュートを打つ場所を2箇所設け、遠い場所からのシュートが成功すればその場所にあるマーカーを取り、近い場所からのシュートが成功した場合はゴール下にあるマーカーを取る。それぞれのマーカーに点数を付け、取ったマーカーの合計点数を競う。途中作戦タイムを設け、できるだけ点数を多くするための工夫を各班で話し合う。



・運動の時間を振り返り、シュートが入らなくても、より得点の高い遠い場所からのシュートにチャレンジする気持ちは素晴らしい。オリンピックバリューを皆に体現してもらったが、今の気持ちを忘れずに覚えておいてほしい。座学の時間は、運動の時間を振り返り、皆が感じたことがオリンピックバリューにどう結びつくかを皆で考えたい。今日の授業がきっかけで、クラスがより良くなったら嬉しいと話し、授業終了。

■ **オリンピック**：村上 睦子 先生 (バスケットボール) 【出場オリンピック／アトランタ1996大会】

■ **期 日**：2024年9月25日(水)

■ **ク ラ ス**：2年1組／座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・競技映像を見て自己紹介。女子バスケットボール競技は、今ではオリンピックでメダルを獲得ほどの実力だが、自分の現役時代は、オリンピックに出場することさえ難しかった。1996年のアトランタ大会出場は20年ぶりの快挙であり、沢山の人の思いを背負いながら臨んだ大会だった。自分にとってオリンピック出場は誇りに思う出来事だ。近代オリンピックの創設者であるピエール・ド・クーベルタンは、スポーツを通して心身の向上と平和を願いオリンピックを開催したと説明。

○個人ワーク～グループワーク等



発問：学校生活や日常生活でどんなことを意識し取り組んだら良いか、オリンピックバリューに当てはめて考えよう。

発表：エクセレンス：「挨拶をする」「今まで続けてきたことを継続」「どんなことにも挑戦」「課題を見つけ改善する」「諦めない」等

フレンドシップ：「協力する」「励まし合う」「教え合う」「声掛け」「友達を大切に」「仲間とコミュニケーションをとる」等

リスペクト：「先輩への感謝」「人の話をよく聞く」「お弁当を作ってくれることに感謝」「挨拶の大切さ」「先生に感謝」等



・オリンピックは特別なイメージがあるかもしれないが、オリンピックバリューは皆の生活の中に深く結びついている。日常生活の中でオリンピックバリューを意識しながら過ごすことで、より人として成長できる。これまでの皆の経験の中で、調子が良い時もあれば失敗したり上手くいかなかったこともあったと思う。これからもたくさんの壁にぶつかると思うが、そういう時こそ自分が試される。苦しいことも面白いぐらいの前向きな気持ちで乗り越えてほしいと伝え、授業終了。

■集合写真

・2年1組



■記念品贈呈

・2年1組



■修了証贈呈

